

草木塔、草木供養塔に関する研究

キーワード[追善供養,草木供養,民間信仰]

講師 阿部宇洋



調査対象となる石造物
『草木塔、草木供養塔』



→草木塔の里
『米沢市田沢地域』での
草木塔ツアー風景

草木塔、草木供養塔とは

置賜地域を中心に建立された石造物。現在確認されている草木塔の中で古いものは安永9年(1780)の銘があります。現代では日本全国のみならず、世界に分布しています。現在では、主に草木の魂の供養碑として捉えられています。

研究内容

草木塔、草木供養塔は、近世後期の置賜地域で建立され始めた石造物で、現在では環境保全のシンボルとして成立しています。しかし、歴史的には、なぜそのような建立に至ったかは明確にはなっておらず、その解明が必要であるとともに、現在新しく建立された草木供養塔を把握しながらその目的等を追調査し、現代社会の草木供養のあり方を記録化する事が必要です。現在はさまざまな方々、さまざまな役職の方と連携しながら緩やかに実施しています。

アピールポイント:

互いに無理せず、各自出来る範囲で協力しながら研究を進めています。民俗調査のみならず、民俗資料を利用した教育ツアーや学修ツアーの開発によって地域に還元することも目指しています。ご関心のある方はご一報ください。

分野: 歴史民俗資料学
専門: 日本民俗学

E-mail : taka.abe@cc.yamagata-u.ac.jp

